



## 2024年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月10日

上場会社名 株式会社ファーマフーズ 上場取引所 東  
コード番号 2929 URL <https://www.pharmafoods.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金 武祚  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 河中 敏弘 TEL 075-394-8600  
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年7月期第3四半期の連結業績（2023年8月1日～2024年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	47,171	△10.2	3,266	99.9	3,223	103.7	1,856	73.7
2023年7月期第3四半期	52,533	19.3	1,634	75.4	1,582	47.0	1,068	-

(注) 包括利益 2024年7月期第3四半期 1,877百万円 (47.2%) 2023年7月期第3四半期 1,275百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	65.00	-
2023年7月期第3四半期	37.00	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第3四半期	36,931	10,015	27.1
2023年7月期	36,232	9,630	26.6

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 10,015百万円 2023年7月期 9,630百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	-	10.00	-	12.00	22.00
2024年7月期	-	10.00	-	-	-
2024年7月期（予想）	-	-	-	10.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,100	△6.5	2,700	△25.2	2,900	△18.1	1,800	△41.6	64.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期3Q	29,079,000株	2023年7月期	29,079,000株
② 期末自己株式数	2024年7月期3Q	1,006,767株	2023年7月期	233,994株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期3Q	28,564,866株	2023年7月期3Q	28,887,115株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

第3四半期決算補足説明資料は、2024年6月10日に当社WEBサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(収益認識関係) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「医食の研究で貢献」というミッションを掲げ、人々の持続可能な健康的で幸せな社会の実現を目指しております。

その実現に向け、食品、化粧品、医薬品の開発を科学的根拠に基づいて行い、独自の研究成果及び製品を「BtoB事業」「BtoC事業」「バイオメディカル事業」の3事業において広く社会に提供しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国をはじめとする先進諸国の金融緩和縮小、円安傾向の継続、ロシア・ウクライナ情勢の長期化と中東紛争等の地政学的リスクなど、海外経済の不安定な状況がわが国経済を下押しするリスクとなっており、依然として経済活動の先行きが不透明な状況となっております。

当社グループが属するヘルスケア業界におきましては、機能性表示食品制度を巡る今後の在り方が議論されるなど、食品の安全性に注目が集まっておりますが、消費者の医療、健康及び美容に対するニーズは引き続き継続しております。

こうしたヘルスケアニーズに応えられるリーディングカンパニーとなるべく、「中期経営計画2026」のテーマ「新価値創造 1Kプロジェクト」を掲げております。この実現のため、研究開発投資、新製品の開発及び販売チャネルの開拓、組織体制の強化に注力いたしました。

また、こうした研究開発成果を社会実装につなげていく事業として、「卵殻膜素材」を様々な分野に応用するプロジェクトが、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が公募する「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに採択されました。今後、繊維、農業及びナノファイバーを原料とした電子材料素材など幅広い産業利用に適した特性を持つ「卵殻膜素材」を開発・量産化するための投資を行ってまいります。

特に、卵殻膜繊維「オボヴェール」は、近年アパレル業界においてリサイクル繊維への注目が高まっていることから、各種メディアに掲載されました。

これらの取り組みにより、当社グループの研究開発費は705百万円（前年同期比17.6%増）となりました。新製品への広告宣伝を強化すると同時に、広告宣伝費全体の最適化を進めており、当第3四半期連結累計期間における広告宣伝費は24,397百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は47,171百万円（前年同期比10.2%減）、営業利益は3,266百万円（前年同期比99.9%増）、経常利益は3,223百万円（前期同期比103.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,856百万円（前年同期比73.7%増）となりました。

前第3四半期連結会計期間から当第3四半期連結会計期間までの各四半期別の業績推移は以下のとおりです。

	前期		当期		
	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間	当第3四半期 連結会計期間
売上高（百万円）	17,390	16,039	16,142	15,510	15,518
営業損益（百万円）	2,518	1,976	601	933	1,730
経常損益（百万円）	2,494	1,958	605	937	1,680

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

<バイオメディカル事業>

## ①創薬事業

創薬事業では、「自己免疫疾患」及び「がん」や「線維症」等の難治性疾患を対象とした研究開発を行っております。

創薬事業の基盤となる「ALAgene technology（アラジンテクノロジー）」は、これまで治療できなかった病気に対する抗体及び既存医薬品よりも優れた薬効を持つ抗体を作製する当社独自のプラットフォーム技術です。

本技術を活用・高度化することで、当社は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の令和3年度「次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業（国際競争力のある次世代抗体医薬品製造技術開発）」における主要メンバーとして参画しております。本事業において当社は、あらゆる疾患を標的とした次世代抗体医薬品候補となり得るリード抗体の取得に成功し、低分子抗体や二重特異性抗体等の次世代抗体医薬品の開発プロセスに進んでおります。

「自己免疫疾患」においては、当社内の「国際PAD<sup>※1</sup>研究センター」において、一連のPAD関連ターゲット

に対する創薬研究を推進しております。

「がん」や「線維症」等の各種難治性疾患においては、標的分子に対する抗体を取得・精製し、薬効薬理試験等の創薬研究を推進しております。

この他、専門チームによるAI創薬にも積極的に取り組んでおります。その成果として、2024年2月には、抗原をコンピューター設計により改変することで、より効率的に抗体を作製できる技術に関する特許（特許第7437558号）を取得いたしました。

## ②研究支援事業

研究支援事業では、タンパク質を網羅的に解析するプロテオーム解析を受託サービスとして行っております。当第3四半期連結累計期間においては、Thermo Fisher Scientific社の最新機種を導入し、これまでより高精度・短納期を実現するサービスを開始いたしました。

また、微量なタンパク質の変化が解析可能な「Olink Target」サービス及び「Olink Flex」サービスも、国内の研究機関、製薬企業等からの受注が堅調で、バイオメディカル事業における収益獲得に貢献しております。

以上の結果、バイオメディカル事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は231百万円（前年同期比18.3%減）、セグメント損失315百万円（前年同期は177百万円の損失）となりました。

## <BtoB事業>

BtoB事業では、機能性素材、健康食品及び医薬品等の研究開発及び製造を行い、食品・医薬品メーカー、流通事業者等に販売をしております。当事業が属する機能性表示食品及び健康食品等ヘルスケア市場は、健康維持、増進への高い意識を背景に、市場規模が拡大しております。

機能性素材の売上高は、1,676百万円（前年同期比21.4%増）となりました。当社の主力商品である「ファーマギヤバ」の販売が国内外で好調に推移し、特に国内市場では、機能性表示食品制度における「GABA（ギャバ）」の届出件数は2024年5月15日時点で1,139件（前年同期は891件）となり、引続き第1位の採用実績を維持しております。大手飲料メーカーの睡眠ケア製品に採用されるなど、GABAの市場拡大が継続しております。

機能性製品の売上高は、526百万円（前年同期比56.9%減）となりました。自社ブランド製品（NB<sup>※2</sup>）及び海外における最終製品のコンビニ等新たな販売チャネルの開拓を強化しております。

明治薬品㈱が手がける医薬品製造受託の「CMO<sup>※3</sup>事業」の売上高は、3,395百万円（前年同期比10.5%増）となりました。後発医薬品メーカーの品質問題や製造上の不備による影響で代替需要が高まる中、受注の安定と利益率向上を達成しております。2024年1月の「令和6年能登半島地震」では、生産設備の操業停止及び漏水等の被害により製品の出荷に影響が発生いたしましたが、通常の操業状態へと回復いたしました。

また、同社の機能性食品・医薬品をドラッグストアチャネル等で販売を行う「CHC<sup>※4</sup>事業」の売上高は909百万円（前年同期比16.8%増）となりました。ドラッグストア向けに新たな明治薬品ブランド製品の販売を強化しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のBtoB事業の売上高は6,507百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は1,313百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

## <BtoC事業>

BtoC事業では、「発明企業の通販事業」として当社独自の機能性素材を配合したサプリメント及び医薬部外品（「タマゴ基地」ブランド）並びに化粧品（「フューチャーラボ」ブランド等）、明治薬品㈱が製造する機能性表示食品等の商品を、通信販売方式で消費者へ直接販売を行っております。

顧客獲得効率指標のCPO<sup>※5</sup>及び収益性指標のLTV<sup>※6</sup>を重視する広告宣伝費の適正化の取り組みを強化する一方、新製品への広告宣伝投資の強化を図ってまいりました。

収益面での強化と並び、関連法令の遵守徹底、広告表現の改善、コールセンターでの応対品質向上の強化も最重要施策として継続してまいりました。

以上の取り組みの結果、2024年4月末時点の当社グループ全体の定期顧客件数は、834,744件（前年同期991,535件、前年同期比15.8%減）となりました。

「ニューモ育毛剤」をはじめとする「医薬品・医薬部外品」の売上高は27,986百万円（前年同期比9.7%増）になりました。「ニューモ育毛剤」の累計出荷件数は、2024年3月21日時点で2,600万本を突破いたしました。薬用ホワイトニングジェル「DRcuLa（キュラ）」や「ラクトロン錠」などが主力商品として収益に貢献いたしました。

このほか、「ニューモ」ブランドの医薬品「ニューZ」、漢方薬の「防風通聖散」の売上高への寄与が高まりました。

その他製品群につきましては、収益性指標を重視し、広告宣伝費の抑制を行った結果、「サプリメント」の売上高は6,273百万円（前年同期比36.9%減）、「化粧品」の売上高は5,843百万円（前年同期比38.9%減）と

なりました。

以上の結果、BtoC事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は40,418百万円（前年同期比11.7%減）となりました。新製品を中心に定期顧客の獲得を目指し、広告宣伝費24,246百万円（前年同期は31,001百万円、前年同期比21.8%減）を計上し、セグメント利益は3,331百万円（前年同期比105.4%増）となりました。

- ※1 PAD (Peptidylarginine deiminase) : 標的タンパクのアルギニンをシトルリン化する酵素。生体内に5種類のPADが存在し、各種疾患との関連が報告されている。
- ※2 NB (National Brand) : 自社ブランド製品
- ※3 CMO (Contract Manufacturing Organization) : 医薬品製造受託機関
- ※4 CHC (Consumer Health Care) : ドラッグストアでの医薬品及び機能性食品等の販売
- ※5 CPO (Cost Per Order) : 顧客1件を獲得するために要した広告宣伝費
- ※6 LTV (Life Time Value) : 顧客生涯価値

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ699百万円増加し、36,931百万円（前期比1.9%増）となりました。これは主に、商品及び製品の増加168百万円、機械装置及び運搬具の増加152百万円、工具、器具及び備品の増加156百万円、投資有価証券の増加290百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ314百万円増加し、26,915百万円（前期比1.2%増）となりました。これは主に、広告宣伝費の増加等による未払金の増加412百万円、未払法人税等の増加746百万円、短期借入金の減少500百万円、長期借入金の減少370百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ385百万円増加し、10,015百万円（前期比4.0%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加1,856百万円、配当金の支払による減少626百万円、自己株式の取得及び処分による減少851百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年3月11日に発表しました業績予想値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,306	16,460
受取手形及び売掛金	4,058	3,913
電子記録債権	526	303
商品及び製品	4,594	4,762
仕掛品	676	675
原材料及び貯蔵品	783	840
その他	588	814
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	27,530	27,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,449	2,397
機械装置及び運搬具 (純額)	541	694
工具、器具及び備品 (純額)	154	310
土地	1,190	1,190
リース資産 (純額)	21	13
建設仮勘定	47	44
有形固定資産合計	4,404	4,650
無形固定資産		
のれん	197	142
その他	41	55
無形固定資産合計	238	197
投資その他の資産		
投資有価証券	2,514	2,804
繰延税金資産	395	349
その他	1,149	1,159
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	4,058	4,313
固定資産合計	8,701	9,162
資産合計	36,232	36,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	937	1,205
短期借入金	17,400	16,900
1年内返済予定の長期借入金	955	872
未払金	3,728	4,140
未払法人税等	264	1,011
賞与引当金	72	165
その他	1,016	774
流動負債合計	24,374	25,069
固定負債		
長期借入金	1,741	1,371
退職給付に係る負債	320	312
その他	165	162
固定負債合計	2,227	1,846
負債合計	26,601	26,915
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,043	2,043
資本剰余金	1,814	1,814
利益剰余金	5,792	7,008
自己株式	△343	△1,194
株主資本合計	9,306	9,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324	345
その他の包括利益累計額合計	324	345
純資産合計	9,630	10,015
負債純資産合計	36,232	36,931



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
売上高	52,533	47,171
売上原価	10,227	9,869
売上総利益	42,306	37,301
販売費及び一般管理費		
研究開発費	599	705
広告宣伝費	31,144	24,397
支払手数料	3,043	3,171
のれん償却額	54	81
その他	5,829	5,679
販売費及び一般管理費合計	40,672	34,035
営業利益	1,634	3,266
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	13	14
為替差益	—	8
補助金収入	44	33
業務受託料	12	12
その他	28	27
営業外収益合計	100	98
営業外費用		
支払利息	37	44
為替差損	3	—
投資事業組合運用損	10	2
持分法による投資損失	61	28
支払手数料	29	26
商品回収等関連費用	5	—
その他	2	38
営業外費用合計	152	140
経常利益	1,582	3,223
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10
固定資産受贈益	8	—
特別利益合計	8	10
特別損失		
固定資産売却損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	1,584	3,234
法人税等	516	1,377
四半期純利益	1,067	1,856
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,068	1,856

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	1,067	1,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207	20
その他の包括利益合計	207	20
四半期包括利益	1,275	1,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,276	1,877
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年10月20日 定時株主総会	普通株式	290	10.00	2022年7月31日	2022年10月21日	利益剰余金

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年2月20日 取締役会	普通株式	288	10.00	2023年1月31日	2023年4月4日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年10月25日 定時株主総会	普通株式	346	12.00	2023年7月31日	2023年10月27日	利益剰余金

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年2月19日 取締役会	普通株式	280	10.00	2024年1月31日	2024年4月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	B to B 事業	B to C 事業	バイオ メディカ ル 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,455	45,779	283	52,518	14	52,533	-	52,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	6,455	45,779	283	52,518	14	52,533	-	52,533
セグメント利益又は損 失(△)	1,069	1,622	△177	2,514	△3	2,510	△876	1,634

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファンド運営事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△876百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△821百万円及びのれん償却額△54百万円が含まれております。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	B to B 事業	B to C 事業	バイオ メディカ ル 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,507	40,418	231	47,157	13	47,171	-	47,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	6,507	40,418	231	47,157	13	47,171	-	47,171
セグメント利益又は損 失(△)	1,313	3,331	△315	4,330	△13	4,316	△1,050	3,266

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファンド運営事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,050百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△969百万円及びのれん償却額△81百万円が含まれております。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	BtoB 事業	BtoC 事業	バイオ メディカル 事業	計		
機能性素材	1,381	—	—	1,381	—	1,381
機能性製品	1,222	—	—	1,222	—	1,222
CMO	3,072	—	—	3,072	—	3,072
CHC	778	—	—	778	—	778
サプリメント	—	9,936	—	9,936	—	9,936
化粧品	—	9,558	—	9,558	—	9,558
医薬品・医薬部外品	—	25,520	—	25,520	—	25,520
その他	—	763	—	763	—	763
バイオメディカル	—	—	283	283	—	283
顧客との契約から生じる収益	6,455	45,779	283	52,518	—	52,518
その他の収益	—	—	—	—	14	14
外部顧客への売上高	6,455	45,779	283	52,518	14	52,533

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	BtoB 事業	BtoC 事業	バイオ メディカル 事業	計		
機能性素材	1,676	—	—	1,676	—	1,676
機能性製品	526	—	—	526	—	526
CMO	3,395	—	—	3,395	—	3,395
CHC	909	—	—	909	—	909
サプリメント	—	6,273	—	6,273	—	6,273
化粧品	—	5,843	—	5,843	—	5,843
医薬品・医薬部外品	—	27,986	—	27,986	—	27,986
その他	—	314	—	314	—	314
バイオメディカル	—	—	231	231	—	231
顧客との契約から生じる収益	6,507	40,418	231	47,157	—	47,157
その他の収益	—	—	—	—	13	13
外部顧客への売上高	6,507	40,418	231	47,157	13	47,171

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファンド運営事業に係る取引によるものであります。